

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第65期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	株式会社ミューチュアル
【英訳名】	Mutual Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三浦 浩一
【本店の所在の場所】	大阪市北区天神橋七丁目1番10号
【電話番号】	06（6351）3521
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区天神橋七丁目1番10号
【電話番号】	06（6351）3521
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【縦覧に供する場所】	株式会社ミューチュアル東京支店 （東京都千代田区神田須田町二丁目11番） 株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第65期 第3四半期連結 会計期間	第64期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	5,695,146	1,808,343	9,350,905
経常利益又は経常損失( ) (千円)	79,253	25,079	425,071
当期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	35,321	23,503	196,741
純資産額(千円)	-	6,721,010	7,052,532
総資産額(千円)	-	11,521,639	11,621,317
1株当たり純資産額(円)	-	853.61	886.69
1株当たり当期純利益又は四半期 純損失金額( )(円)	4.55	3.04	25.14
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	57.1	59.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	367,913	-	195,905
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	51,847	-	221,621
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	172,283	-	217,814
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	1,412,278	1,900,627
従業員数(人)	-	134	128

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(人)	134(31)
---------	---------

(注) 従業員数は、就業人員であり、臨時雇用者数(嘱託社員、パートタイマーを含んでおります。)は( )内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(人)	118(20)
---------	---------

(注) 従業員数は、就業人員(当社から社外への出向者を除いております。)であり、臨時雇用者数(嘱託社員、パートタイマーを含んでおります。)は、当第3四半期会計期間の平均人員を( )内に外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
	生産高(千円)
産業用機械事業	2,212,019
(一連ライン)	(1,502,113)
(製剤機)	(36,339)
(充填機)	(148,288)
(検査装置)	(114,658)
(包装機)	(167,984)
(部品)	(6,466)
(改造・調整・修理)	(236,170)
工業用ダイヤモンド事業	73,676
その他事業	12,741
合計	2,298,437

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当第3四半期連結会計期間の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	受注高(千円)	受注残高(千円)
産業用機械事業	2,781,889	6,688,020
(一連ライン)	(1,053,000)	(3,491,440)
(製剤機)	(358,541)	(582,343)
(充填機)	(101,049)	(313,606)
(検査装置)	(219,226)	(542,187)
(包装機)	(502,410)	(1,049,928)
(部品)	(116,768)	(207,639)
(改造・調整・修理)	(430,894)	(500,876)
工業用ダイヤモンド事業	97,968	2,239
その他事業	27,386	132,770
合計	2,907,245	6,823,030

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
	販売高(千円)
産業用機械事業	1,682,376
(一連ライン)	(904,550)
(製剤機)	(59,637)
(充填機)	(187,300)
(検査装置)	(24,845)
(包装機)	(43,160)
(部品)	(170,683)
(改造・調整・修理)	(292,200)
工業用ダイヤモンド事業	95,910
その他事業	30,056
合計	1,808,343

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
ニプロパッチ株式会社	586,307	32.4
株式会社大塚製薬工場	281,327	15.6

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 経営成績

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国大手証券会社の破綻に端を発する金融危機以降、世界的な景気後退が急加速するとともに、円高による輸出関連取引の収益低下が顕著化し、加えて設備投資も低迷する等、極めて厳しい情勢でありました。また、個人消費も雇用・所得環境が悪化する中で弱含みが続いており、景気は後退局面に転じました。

当社グループにおきましても、厳しい環境ではありましたが、引き続き国内外での積極的な宣伝活動・販売促進活動や新分野への営業活動などの展開により、受注の確保・拡大に努めてまいりました。

当第3四半期会計期間の売上高は1,808百万円となり、利益面では売上総利益で375百万円を計上しましたが、販売費及び一般管理費の固定費負担もあり、営業利益は19百万円に止まりました。また、投資有価証券評価損70百万円が発生したため、25百万円の経常損失を計上しました。

各事業別の概況は以下のとおりであります。

##### 産業用機械事業

当第3四半期連結会計期間における産業用機械事業は、事業売上全体では1,682百万円となりました。このうち一連ラインが売上高904百万円、改造・調整・修理が売上高292百万円と好調に推移いたしました。他の品目につきましては、検査装置、包装機等の減少が影響して全体としては前年同期比で若干の減少となっております。

##### 工業用ダイヤモンド事業

工業用ダイヤモンド事業は、主として自動車関連業界向けの売上が減速し、売上高95百万円となりました。主な内訳では、人造ダイヤ53百万円、原石30百万円、パウダー10百万円となっております。

##### その他事業

その他事業は、主に坐薬用包装資材の売上で30百万円でありました。

#### (2) キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第2四半期連結会計期間末比229百万円減少し、1,412百万円となりました。主な要因は、以下のとおりであります。

##### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は、491百万円となりました。

これは、仕入債務の増加、前渡金の減少等により増加したものの、たな卸資産の増加、前受金の減少等により減少したものであります。

##### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、取得した資金は、278百万円となりました。

これは、有価証券及び投資有価証券の償還による収入等により増加したものであります。

##### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、16百万円となりました。

これは、主として自社株式の買付によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更又は新たに発生した問題等はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費は、総額1百万円であります。また、当第3四半期連結会計期間において研究開発活動についての重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であります株式会社ウイストにて、京都府相楽郡精華町の本社工場設備設計費用の一部2百万円を建設仮勘定として計上しております。なお、全体についての投資額については、当初の見込額通り約150百万円程度と、重要な変更はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等についての重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,320,320	8,320,320	株式会社ジャスダック 証券取引所	単元株式数は100株 であります。
計	8,320,320	8,320,320	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	-	8,320,320	-	669,700	-	695,975

#### (5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ  
ん。



(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況につきましては、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

(平成20年9月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 562,500	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,736,300	77,334	同上
単元未満株式	普通株式 21,520	-	-
発行済株式総数	8,320,320	-	-
総株主の議決権	-	77,334	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,900株が含まれております。なお、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数29個が含まれておりません。

【自己株式等】

(平成20年9月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ミューチュアル	大阪市北区天神橋 七丁目1-10	562,500	-	562,500	6.76
計	-	562,500	-	562,500	6.76

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	528	526	540	649	535	505	415	363	479
最低(円)	485	495	505	510	505	386	277	317	355

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）から、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,689,578	2,084,527
受取手形及び売掛金	2,897,124 <sub>2</sub>	3,526,265 <sub>2</sub>
有価証券	244,830	290,941
商品及び製品	69,797	71,375
仕掛品	2,168,652	806,983
原材料	59,905	69,974
前渡金	464,630	584,654
繰延税金資産	104,087	136,802
その他	153,777	85,082
貸倒引当金	973	652
流動資産合計	7,851,412	7,655,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	253,103 <sub>1</sub>	263,972 <sub>1</sub>
土地	380,723	335,780
その他(純額)	62,433 <sub>1</sub>	78,031 <sub>1</sub>
有形固定資産合計	696,260	677,784
無形固定資産	19,243	20,009
投資その他の資産		
投資有価証券	1,643,422	1,943,149
長期貸付金	52,548	53,551
繰延税金資産	351,505	281,282
長期預金	600,000	701,500
その他	308,168	290,077
貸倒引当金	922	1,993
投資その他の資産合計	2,954,722	3,267,567
固定資産合計	3,670,227	3,965,362
資産合計	11,521,639	11,621,317

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,991,767	2,636,936
短期借入金	126,000	105,000
未払法人税等	2,558	50,581
前受金	496,278	513,771
賞与引当金	53,162	100,517
役員賞与引当金	2,550	15,400
その他	144,687	204,041
流動負債合計	3,817,004	3,626,247
固定負債		
退職給付引当金	364,229	320,290
役員退職慰労引当金	54,955	51,375
長期未払金	536,567	536,567
負ののれん	27,871	34,302
固定負債合計	983,623	942,536
負債合計	4,800,628	4,568,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,571,644	5,762,720
自己株式	384,097	350,060
株主資本合計	6,553,221	6,778,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,803	130,702
繰延ヘッジ損益	2,849	3,725
評価・換算差額等合計	26,653	126,976
少数株主持分	141,135	147,220
純資産合計	6,721,010	7,052,532
負債純資産合計	11,521,639	11,621,317

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	2 5,695,146
売上原価	4,501,601
売上総利益	1,193,545
販売費及び一般管理費	1 1,103,951
営業利益	89,594
営業外収益	
受取利息	32,822
受取配当金	20,060
負ののれん償却額	6,431
為替差益	9,416
その他	4,146
営業外収益合計	72,877
営業外費用	
支払利息	1,022
投資有価証券評価損	78,689
その他	3,506
営業外費用合計	83,218
経常利益	79,253
特別利益	
役員賞与引当金取崩額	12,000
特別利益合計	12,000
特別損失	
退職給付制度改定損	68,522
その他	323
特別損失合計	68,846
税金等調整前四半期純利益	22,407
法人税、住民税及び事業税	46,418
法人税等調整額	7,414
少数株主利益	3,895
四半期純損失( )	35,321

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	1,808,343
売上原価	1,433,329
売上総利益	375,013
販売費及び一般管理費	355,294
営業利益	19,719
営業外収益	
受取利息	10,703
受取配当金	7,691
負ののれん償却額	2,143
為替差益	6,723
その他	573
営業外収益合計	27,835
営業外費用	
支払利息	405
投資有価証券評価損	70,181
その他	2,048
営業外費用合計	72,635
経常損失( )	25,079
特別損失	218
税金等調整前四半期純損失( )	25,298
法人税、住民税及び事業税	1,488
法人税等調整額	1,195
少数株主損失( )	4,478
四半期純損失( )	23,503

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	22,407
減価償却費	33,143
負ののれん償却額	6,431
貸倒引当金の増減額(は減少)	750
賞与引当金の増減額(は減少)	47,354
退職給付引当金の増減額(は減少)	43,938
受取利息及び受取配当金	52,883
支払利息	1,022
売上債権の増減額(は増加)	629,141
前受金の増減額(は減少)	17,492
たな卸資産の増減額(は増加)	1,350,023
仕入債務の増減額(は減少)	354,831
前渡金の増減額(は増加)	120,023
その他	51,894
小計	322,322
利息及び配当金の受取額	51,089
利息の支払額	1,424
法人税等の支払額	95,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	81,800
定期預金の払戻による収入	89,900
有価証券の償還による収入	143,501
有形固定資産の取得による支出	62,577
有形固定資産の売却による収入	17,116
投資有価証券の取得による支出	235,649
投資有価証券の償還による収入	200,000
その他	18,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	51,847
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(は減少)	21,000
自己株式の取得による支出	34,401
配当金の支払額	153,532
少数株主への配当金の支払額	5,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,283
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	488,349
現金及び現金同等物の期首残高	1,900,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,412,278

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
会計処理基準に関する 事項の変更	重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の 評価に関する会計基準」(企業会計基準第9 号平成18年7月5日)が適用されたことに伴 い、評価基準については原価法から原価法(貸 借対照表価額については収益性の低下による 簿価切下げの方法)に変更しております。 これによる損益及びセグメント情報に与え る影響は軽微であります。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
固定資産の減価償却費の 算定方法	減価償却の方法として定率法を採用して いる固定資産の減価償却費については、連 結会計年度に係る減価償却費の額を期間按 分して算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)  
該当事項はありません。



【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 734,472千円</p> <p>2 四半期期末日満期手形</p> <p>四半期期末日満期手形の会計処理については、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。</p> <p>当第3四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。</p> <p>受取手形 77,916千円</p>	<p>1 有形固定資産の減価償却累計額 742,767千円</p> <p>2</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<p>1 販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>給与手当等 313,370千円</p> <p>退職給付費用 16,764千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 3,580千円</p> <p>賞与引当金繰入額 22,742千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 2,550千円</p> <p>2 当社グループの売上高は、主としてユーザーの年度設備計画に連動するため、検収時期が決算期末に集中する傾向があります。</p>

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
<p>販売費及び一般管理費の主なもの</p> <p>給与手当等 105,067千円</p> <p>退職給付費用 2,342千円</p> <p>役員退職慰労引当金繰入額 1,193千円</p> <p>賞与引当金繰入額 22,742千円</p> <p>役員賞与引当金繰入額 850千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 1,689,578千円</p> <p>預入期間が3ヶ月を超える定期預金 277,300千円</p> <p>現金及び現金同等物 1,412,278千円</p>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 8,320千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 612千株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	155,754	20.0	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	産業用機械事業 (千円)	工業用ダイヤモンド事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,682,376	95,910	30,056	1,808,343	-	1,808,343
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,682,376	95,910	30,056	1,808,343	-	1,808,343
営業利益	122,677	12,213	6,415	141,307	(121,587)	19,719

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	産業用機械事業 (千円)	工業用ダイヤモンド事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,284,110	331,078	79,957	5,695,146	-	5,695,146
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,284,110	331,078	79,957	5,695,146	-	5,695,146
営業利益	396,155	38,054	13,893	448,103	(358,509)	89,594

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によるものであります。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
産業用機械事業	製剤機、充填機、包装機、検査装置等
工業用ダイヤモンド事業	人造ダイヤモンド、原石、パウダー等
その他事業	坐薬用包装資材等

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載をしておりません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
海外売上高（千円）	-	31,400	-	31,400
連結売上高（千円）	-	-	-	1,808,343
海外売上高の連結売上高に占める割合（％）	-	1.7	-	1.7

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	北米	アジア	欧州	計
海外売上高（千円）	105	169,734	1,167	171,006
連結売上高（千円）	-	-	-	5,695,146
海外売上高の連結売上高に占める割合（％）	0.0	3.0	0.0	3.0

（注）1．国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米.....米国、カナダ、プエルトリコ

(2) アジア.....香港、中国、韓国、台湾、中近東・ASEAN諸国

(3) 欧州.....EU諸国

3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（有価証券関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

（デリバティブ取引関係）

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日）

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

（ストック・オプション等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 853.61 円	1株当たり純資産額 886.69 円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額 4.55 円	1株当たり四半期純損失金額 3.04 円
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 - 円	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額 - 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりませ  
ん。

2. 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純損失(千円)	35,321	23,503
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	35,321	23,503
期中平均株式数(千株)	7,764	7,742

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

リース取引の四半期連結会計期間末における取引残高は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認めら  
れないため、記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月10日

株式会社ミューチュアル

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 土田 秋雄 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 千崎 育利 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミューチュアルの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミューチュアル及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。